

# 取組の柱③：多層的な連結性

## 事例⑯：DFFT推進のための途上国の法整備・基盤整備等支援

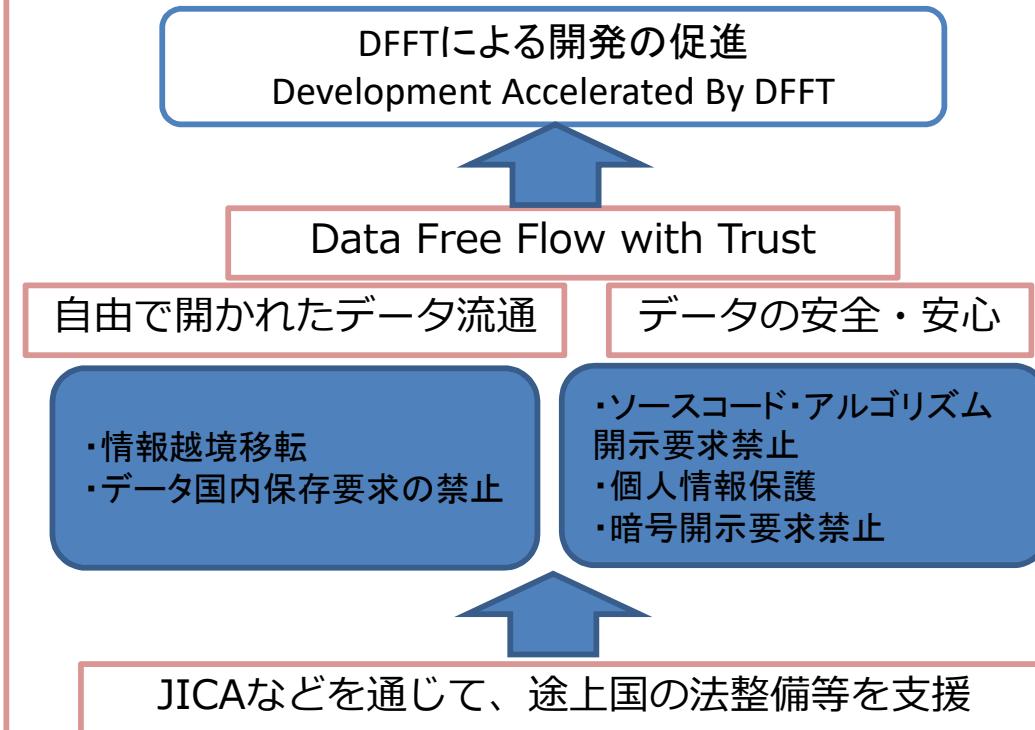
### 1. 基本的な考え方

- 2019年1月のダボス会議で、自由で開かれたデータ流通とデータの安全・安心の両立を図る、信頼性のある自由なデータ流通（DFFT: Data Free Flow with Trust）の概念を提唱。
- 2021年12月の所信表明において、岸田総理は、「デジタル時代の信頼性ある自由なデータ流通、「DFFT」の実現に向けた国際的なルールづくりを通じ、我が国の安全と繁栄に不可欠な、自由で公正な経済秩序を構築し、世界経済の回復、新たな成長を後押しします」として、DFFT推進を表明。
- TPP等の国際規律があり、WTOで国際的なルール作りの議論がある一方、途上国に浸透しているとは言えず、関連法整備も進んでいない。
- 途上国においては、経済成長や開発課題への対応のためにデータを積極的に利活用していく姿勢も示されつつあり、関連法制度や基盤の整備を後押しする支援ニーズが増大。

⇒ DFFT推進のための途上国の法制度・基盤構築支援が必要

### 2. 具体的な取組

- DFFT推進のための人材育成  
(例) DFFTに関する本邦研修の実施
- 途上国のデータの流通及び利活用に関する法制度や基盤整備等  
(例) 専門家派遣、開発政策借款等を通じた法制度整備、保健分野のデータ基盤整備等の支援
- DFFTを通じた産業育成  
(例) 途上国によるデジタル・サービス輸出拡大、デジタル産業育成支援
- サイバーセキュリティ能力強化 (Cybersecurity For All)  
(例) ASEANサイバー広域技プロ等



▲写真上：ブータン「政府のデジタル技術及びデータ利活用能力強化プロジェクト」  
◀写真左：ルワンダ「ICTイノベーションエコシステム強化プロジェクト」